



てつやの対談

子どもの保育環境の充実を求めて

第3なでしこ保育園長 大谷光代さん
熊谷市子育て支援拠点連絡会「くまっしえ」代表



社会福祉法人なでしこ会（門倉文子理事長）の第3なでしこ保育園長大谷光代さんと対談しました。同会は、熊谷市の住宅街に昭和39年創設。第二なでしこ保育園、第三なでしこ保育園とともに3園と子育て支援センターパーシモンを運営。職員数110人、乳園児約400人を預かっています。大谷さんは現在、熊谷市子育て支援拠点連絡会「くまっしえ」代表、日本子ども・子育て支援センター連絡協議会「ここネット埼玉」代表を務めています。

小林 ばやし てつや



熊谷市内 48 か所の保育施設

てつや 熊谷市は保育園や認定子ども園、子育て支援拠点事業に関して大変努力をされています。市内に公立保育所 12、民間保育園 24、認定こども園 3、地域型保育施設 9カ所ありますね。

大谷 はい、そうですね。0～3歳未満児対象の定員が6人以上19人以下の小規模施設もだいぶ出来てきました。病児保育も医療生協さいたま熊谷生協病院「こぐまちゃんち」で始まっています。

子どもを預かる保育士の処遇改善を求めて

てつや 保育所等の運営費用の多くは、国や自治体からの補助金、そして、親が支払う保育料によるものですね。しかし、他業種とくらべて平均賃金が低いため、人材不足になりがちな保育士は処遇改善が必要不可欠です。県議会では福祉保健医療委員会で、保育士確保と離職防止のための処遇改善を求める決議をしました。残念なのは、反対をする党派があることです。

大谷 問題視されているのは「地域区分」です。補助金額は政府が定める「公定価格」で決まり、地域に不公平感が生まれています。熊谷市は、お隣の深谷市や行田市より低く換算されているため、お給料も少なくなってしまうのです。言い換えれば熊谷市は財政的に恵まれていると判断をされているのかもしれませんが。

てつや 保育士の平均年収は都道府県により218万円～385万円まで格差があるといわれていますね。公立（公務員）レベルのお給料が望ましいですが、人件費が高みますからね。

大谷 実は、自治体により保育士の賃金に上乘せがされています。平成27年東京都補助金制度「キャリアアップ補助」と平成29年の保育

賃金上乘せが実現し、合計約44,000円もの給料アップしています。心配なのは、県内の保育士さんたちが、地地域区分の良い近隣の自治体や都内の職場に流れてしまうことです。

子どもたちの幸せのために

てつや 働くお母さん、お父さん方のために現場の職員みなさんは長時間保育にどう対応されているのでしょうか。

大谷 大人は8時間労働ですが、子どもの保育標準時間は11時間です。職員は8時間で交代しますので常に同じ先生が関わらず、お子さん自身に負担となり精神的不安に繋がるのではと気がかりです。子どもの本当に幸せとは何か、考え、努力する毎日です。



執筆に6年、現場で書き上げた保育書 必携の「保育マニュアル」3冊

てつや 現場発信のノウハウが詰まった本を出版されましたね。これまでにない0～2歳時までのきめ細やかな保育内容に目を見張りました。

大谷 「かわいがり保育、0・1・2歳児」「よりそい保育、年少・年中・年長児」保育の質を高める「保育園の仕事」の3冊を6年がかりで理事長以下職員らが協力して書き上げました。子どもの最善の利益につながれば嬉しいです。



社会福祉法人なでしこ会 門倉文子理事長（写真右）

てつやProfile

*平成15年、19年、23年、27年
埼玉県議会議員当選4回

【現在の役職】

- *自由民主党埼玉県連財務委員長
- *自由民主党熊谷支部長
- *埼玉県ラグビーフットボール協会副会長
- *埼玉県議会ラグビー振興議員連盟会長
- *2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019 埼玉県推進委員会副会長
- *保護司
- *熊谷市バドミントン協会会長
- *熊谷市ソフトボール協会会長
- *熊谷市スキー連盟会長
- *桜ファンクラブ副会長
- *議会運営委員会
- *産業労働企業委員会
- *地方創生・行財政改革特別委員会

【これまでの経歴】

- *第120代埼玉県議会議員
- *平成19年県土都市整備委員長
- *平成20年文教委員長
- *平成21年企画財政委員長
- *平成22年環境農林委員長
- *平成23年地方分権行財政改革特別委員会委員長
- *平成24年次世代人財育成・文化・スポーツ振興特別委員会委員長
- *平成25年埼玉県議会運営委員長
- *緊急経済対策特別委員会委員長
- *平成26年危機管理 大規模災害対策特別委員長
- *平成27年埼玉県監査委員
- *ラグビースクール第1期生

てつやの活動

SAITAMA ラグビーロードの整備



熊谷市新島地区 17号国道から407号線へ開通



熊谷市上之地区 車線工事進行中



熊谷市大里地区 大里中学校付近青山熊谷線の工事



熊谷市箱田地区 太田熊谷線の道路拡張と橋梁工事

2019年ラグビーワールドカップに向けて着々と工事が進展しています。4つの道路が整備され便利になります。

- ①(都) 熊谷西環状線(県道熊谷館林線)
②県道熊谷羽生線バイパス
③一般県道青山熊谷線
④(都) 熊谷太田線



県道青山熊谷線整備促進会議で発言するてつや

小林てつやは地域社会のために頑張る皆さんを応援しています

西日本の各所で豪雨、台風と災害の復旧が進まないまま、北海道で大地震が起きてしまいました。心から早い復興と被災された皆様、ご関係者皆様に心よりお見舞い申し上げます。



一昨年、熊谷市危機管理室で約70000世帯に配布した「熊谷市防災ハザードマップ」。3.11東日本大震災時の市内の液状化現象等を参考に、洪水、液状化危険度、風水害対策、地震の揺れやすさなどが地図で表され、きめ細やかに掲載されています。自分の地域の危険度をぜひ把握しておいてください。お問合せは熊谷市役所4階危機管理室まで。 ☎048-524-1111

「防災構共学」の講義とワークショップ

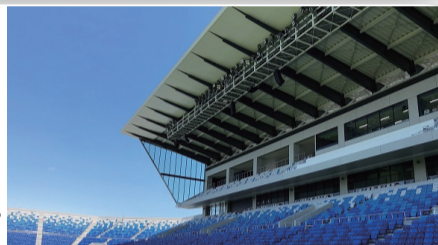
埼玉建築士会大里支部(神田善明支部長)主催の講義が回遊式庭園星溪園内「星溪寮」で開かれました。中野万紀子副支部長は、「ちょっと多めに日常品を備えておくことも大切。地震に強い建物に補強するなど、自宅点検にも目を向けて欲しい」と話しました。



新聞紙で紙皿を作るみなさん

新ラグビー場完成!

臨場感にあふれ、観客が楽しめるスタジアム



第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会に埼玉県ラグビー協会副会長として出席しました。



知っていますか? ヘルプマーク

埼玉県で配布開始 熊谷市では400個用意



赤いシリコン製のストラップ式

全国に広がりつつある、「ヘルプマーク」。埼玉県では県内63市町村で配布が開始されました。ヘルプマークは6年前最初に東京都が作り、現在、25都道府県で導入されています。ヘルプマークは見えないつらさや障害を持つ人たちが、がん治療中や病を抱える人などが対象の支援マーク。バックや持ち物などに常時身に付けてられています。ヘルプマークを持つことで本人の安心や家族、支援者の安心、障害に対する理解の促進の効果が期待されています。

サロンでてつや Salon de tetsuya

理想を希望のまま終わらせないために!

そのために様々な活動を行う日々。「てつや」の「記録」をじっくりとご覧ください



第31回県民総合体育大会「スポーツフェスティバル2018」

片倉シルク記念館にてあすなろ・すみれ会主催の悠々ホルン・ライブ&トーク

上之村神社

埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会

熊谷工業高校ラグビー部の現役vsOB交流戦 県議会ラグビー振興議員連盟会長、県ラグビーフットボール協会の副会長として参加